

新春特別対談



▼1▼

2014年の幕が開けた。安倍晋三首相のアベノミクスで日本経済は活気づき、積極的平和外交も定着しつつある。ただ、4月の消費税増率アップや、軍事的挑発を強める中国の存在などの不安要素もある。これから日本はどうなるのか？ 自民党の高市早苗政調会長と、同党の山谷えり子参院政策審議会長が語り合った。

第2次安倍内閣の1年間は
どうでしたか？

高市氏「日本が再生するための1年でしたね。衆院選でお約束した『自民党政権公約2012』に書いた諸政策を、内閣が着実に実行し、党が関連法案や予算の成立を支えてきました」

山谷氏「20年間続いたデフレで自信を失った日本人を『前を向こう』という気持ちに変えさせました。これまで『政治は誰がやっても同じ』と言われてきましたが、『明日は我が身』と多くの人に言

っていたが、責任を感じます」

高市氏「当初からスピード重視でした。第2次安倍内閣は12月26日に発足し、

たが、直ちに司令塔となる日本経済再生本部を立ち上げ、産業競争力会議も設置しました。内閣発足後17日目に10兆円規模の緊急経済対策を、21日目に大型の補正予算

を策定。28日目に政府・日銀共同声明を発表して2%の物価安定目標を打ち出しました。すべて『自民党政権公約2012』に明記していたことです」

「気事業法」などを成立させました。これらが今年から施行段階に入りますから、効果が出てくるはずですよ」

高市氏「90点かな。マイナス10点は、民主党政権時代の『負の遺産』です。彼らの誤った政治主導によって、政治家と官僚の信頼関係が損なわれていて、政権交代後も意思疎通が十分なケースがなかった。今ではかなり回復してきています」

高市今年から効果が出る成長戦略 山谷本格的景気回復は来年度から

「アベノミクスの3本の矢も注目された」

高市氏「第3の矢である成長戦略については、昨年末の臨時国会で『産業競争力強化法』

『国家戦略特区法』『農地中間管理機構整備関連法』『改正電

高市氏(右)と、山谷氏は、安倍政権を支える強力コンビだ

高市氏「90点かな。マイナス10点は、民主党政権時代の『負の遺産』です。彼らの誤った政治主導によって、政治家と官僚の信頼関係が損なわれていて、政権交代後も意思疎通が十分なケースがなかった。今ではかなり回復してきています」

山谷氏「点数を付けるのは難し。そもそも、現在執行されている13年度予算は民主党政権時代に作られたもの。自民党政権らしさを100%出すのは難しかった。しかし、14年度予算は本場の意味で自民党政権が作った予算ですから、本格的な景気回復は来年度からでしょう。期待していただく」

「この1年を採点すると何点、い」

(取材・構成 安積明子)

たかいち・さなえ 1961年生まれ。神戸大学経営学部卒業、松下政経塾卒業、近畿大学教授を経て、93年に衆院議員初当選。衆院文科委員長、通産政務次官、経産副大臣、科学技術担当などを歴任。現在、衆院議員6期目(奈良2区)。12年12月、自民党政調会長に就任する。やまたに・えりこ 1950年生まれ。聖心女子大学卒業後、新聞記者やテレビキャスターなどを経て、2000年に衆院議員初当選。04年に参院議員に転身し、内閣府大臣政務官や首相補佐官を歴任。13年10月、参院自民党政審会に就任する。



新春特別対談



見せてください
 山谷氏「どうぞ(笑)。外国から政府関係者やビジネスパーソン、観光客などの来日が増えています。私たちが確実に増えています。私は2013年6月まで参院ODA特別委員会委員長を務め、ブータンやミャンマー、スリランカなどを訪問しましたが、いずれも日本への注目度は非常に高かったです」

安倍晋三政権になって、日本の国際的地位も高まりました。自民党の高市早苗政調会長「私が最もうれしく思うのは、積極的な首脳外交の展開です。『自民党政権公約2012』に書いた『インフラ・システム輸出』や『国際資源戦略』に道筋を付けました。例えばシェールガスの調達など、明るい光が見え始めています」

同党の山谷えり子参院政策審議
 会長「実は私、参院自民党の政
 会長としての名刺を、日の丸入りの英語版に作りなおしたんですよ」



高市氏「詳しく教えてください」
 山谷氏「印象深かったのは、ブータン国王のジウミ・ケサル・ナムゲル・ワンチュク陛下とお会いした時の話です。陛下は、日本人のものを紹介するテレビ番組を見て、『一心不乱に指先に魂を込める姿に、とても心を打たれた』と感想を披露されました」



山谷 日本技術に世界が注目 高市 積極外交で資源調達に光

高市氏「日本人の素晴らしさが世界に広まることは、誇らしいですね」
 山谷氏「日本の優秀な技術やノウハウは世界中が求めています。安倍首相は就任後、道路や港湾などインフラ作りのODAにプラスして、交通システムや運営のノウハウ、メンテナンスなどをパッケージで、アジア・アフリカ諸国に紹介、売り込んでいます」

山谷氏「そうしたトップセールスを安倍首相は1年間で25カ国で行いました。首脳外交は120カ国以上。『日本が持つ能力・技術で、世界のみなさんに幸せになってほしい』という願いを込めて。同時に、世界の成長力を取り込んで日本も成長していく。そういう歯車がうまく回転しはじめています」

高市氏「安倍首相は政治理念がはっきりしています。国家経営目標がしっかりしているので、党側としても政策作りやすい。私は減多に首相と会わないし、電話やメールでのやりとりが多い。それでも党の政策立案が活発なのは、首相が何を考えておられるのかが、皆の心にストンと入ってくるからです」

山谷氏「確かに、そうですね」
 高市氏「安倍首相は、昨年1月の施政方針演説で『一身独立して一国独立する』とおっしゃいました。福沢諭吉先生の言葉で、個人が独立してこそ、初めて国が確立されるという意味です。民主党政権のバラマキ政策は『国からいくらもらえるのか』『もらえるものはもらわないと損』といった過剰な依存心を煽りました。でも、この1年で日本人の意識が変わってきたと感じます。『他人の負担を増やしても自分だけは得をしよう』という方は減ってきたと思います」

高市氏「安倍首相は政治理念がはっきりしています。国家経営目標がしっかりしているので、党側としても政策作りやすい。私は減多に首相と会わないし、電話やメールでのやりとりが多い。それでも党の政策立案が活発なのは、首相が何を考えておられるのかが、皆の心にストンと入ってくるからです」

(取材・構成 安積明子)

新春特別対談

▼3▼



日本周辺の安全保障環境が悪化している

自民党の高市早苗政調会長「中国は、昨年11月23日に沖縄県の尖閣諸島を含む東シナ海上空に一方的に防空識別圏を設定しました。私はすぐ、国防部長と外交部長に『抗議と撤回を求める決議を作ってください』と指示をしました。在日中国大使への抗議文も発出しました。さらに政調会から国会決議も求め、12月6日に衆院で中国に対する抗議と撤回要求の決議が実現しました。国会決議は全会一致です」

参院はどうでした

同党の山谷えり子参院政策審議会長「参院も翌7日未明に決議しました。それにしても、中国や韓国との関係が難しくなっています。北朝鮮も権力闘争が激しく、拉致問題や核・ミ

高市氏と山谷氏は、安全保障について語り合った

サイル疑惑は解決されていません」

高市氏「日本の国防意識は向上しています。先の国会決議も、民主党政権時代なら『中国との関係が...』といった反対意見も出たでしょう」

山谷氏「中国は最近、露骨に海洋覇権を求めています。昨年は南シナ海のスカボロー礁に勝手に礼を立て、フィリピン海軍が撤去した。また、ベトナムの海底ケーブルを中国が切ったとか。海島保護法や国防動員法など自国に都合のいい法律も、どんどん作っています」

高市氏「まず、日米の連携は重要で

山谷中韓との関係難しく 高市日米の連携は重要に

す。中国が防空識別圏を設定した直後、米軍のB52戦略爆撃機が事前通告なく同空域を飛行し、日本の航空自衛隊機も飛行しました。これが日米同盟の強さを中国に示すことになり、非常に良かったと思います」

山谷氏「そうですね」

高市氏「さらに、ケリー国防長官と、長官とヘーゲル国防長官が、『自国の領空に入ろうとしている外国機に防空識別圏に係る手続きを適用する試みは支持しない』『尖閣諸島が(米国の防衛義務を定めた)日米安保条約第5条の対象になる』と声明を



発表されました。安倍晋三首相が就任早々に日米関係を立て直した成果です」

山谷氏「実際、かなり多くの国が『中国のやり方は問題だ』と思っています。安倍首相が就任後25カ国を訪問して、共感を広げできた成果は大きい。例えば、ミャンマーは2年前、海上自衛隊の艦船の寄港を拒否しました。経済などで中国に依存していましたが、安倍政権になって、ミャンマーとの外交関係を再構築し、ODA(政府開発援助)も復活させました。ティン・セ

ン大統領は『海上自衛隊の寄港を歓迎する』と言っています。たった1年でガラリと風景が変わったのです」

安倍外交の成功例ですね

高市氏「日本がASEAN(東南アジア諸国連合)と関係を深めるにつれ、オバマ政権が中国よりも日本を重視する傾向が見えてきたように感じます」

山谷氏「安倍首相はそれぞれの国の主権を大事にしながら、『海の安全を保障していく』という仕組み作りに取り組んでいます。中国には『ルール無視は通らない』というところを、きちんと理解してほしいです」

(取材・構成 安積明子)



新春特別対談

▼4▼



今年、消費税率が上がり、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）にも加盟する方針です。国民生活はどうなるか

自民党の高市早苗政調会長「消費税増税は、民主党政権時代に法律で決まっていたことですが、安倍晋三首相は4月からの実施を決断しました。『受益と負担の原則』を確立することが重要です。つまり、これからの時代に絶対に必要な社会保障サービスの質と量を考え、そのサービスを受ける

ためなら甘受できる国民負担について合意を形成することです。税率引き上げ直後の景気の下振れリスクを回避するため、補正予算案を編成しました。TPP交渉参加も、安倍首相が広く国益を考慮して決断されたものだと思います」

山谷えり子 日本には日本の資本主義がある 高市早苗 家計で経済再生を実感する年に

って輸出することができず、日本人もおいしい国産米を適正な価格で食べることもできる。農家は市場が求める多様な農産物を生産できる。まさに大転換。画期的なことだと思います」

山谷氏「日本は『瑞穂の国の資本主義』です。要するに、人間の魂や文化や歴史が大事なのです。それが欠落している『拝金主義のハゲタカ資本主義』などではあり得ません」

高市氏「そういう思いで、政調会のメンバーは頑張ってくれました。美しい農村の多面的機能を評価する仕組みの支援策、国産材の需要促進策、漁業の燃油高騰対策、農林水産品の輸出促進策を構

築しました。そして、自民党が『参議院選挙公約2013』に明記した『学校給食の国産食材の割合を80%以上とする』という政策も、昨年末に政府決定されました」

山谷氏「私の故郷・福井県では、布袋に土を入れて種をまき、その上に細いパイプで水と養分を送るシステムを作り、アフリカの農業生産に貢献しようとして

いる企業があります。袋の中に種を入れ、水と養分を供給するのです。耕作不適合地でも作物が栽培できるので、世界の食糧問題解決に寄与できると思います。こういうアイデアは日本人ならでは、日本人のモットーは、正直、親切、チャレンジ、親孝行。たかさんの美德

があります」
日本人の美德をアピールして、失った自信を取り戻すべきでは
山谷氏「そうですね。日本には損得を超えていいものを作り、大事にする土壌がある。それが日本人の強みです」
高市氏「自立と勤勉の倫理を重んじてきた国民ですから、持続的成長は可能です。自民党の政権復帰から1年で、株価は7割以上高くなり、為替も2割改善、有効求人倍率や実質GDP成長率も上昇しました。日本列島の隅々まで成長戦略の成果が行き渡り、雇用や所得が増え、家計で経済再生を実感していただける年にしましょうね」

高市氏「そうですね。自民党では、TPP交渉への対応は総裁直轄機関が担当していますので、政調の農林部会では『足腰の強い農業を作るための政策』について知恵を絞りました。結果、40年も続いていた減反政策の廃止を決断しました。これで、日本の米は価格競争力を持



TPPや農業政策を語り合う高市氏（左）と、山谷氏

山谷氏「国民が希望を持つため、自民党はもっと頑張っていくですよ」
(取材・構成 安積明子)

新春特別対談

▼5▼



2014年はどんな年になりますか

自民党の山谷えり子参院政
策審議会長「今年は甲午(き
のえうま)ですが、甲午の年
といのは『国がとても発展
する年』だぞつですね。実
は、安倍晋三首相は1954
年の生れで、甲午の年男で
す」

同党の高市早
苗政調会長「還
暦ですか。新た
な課題に挑戦さ
れぞつですね」

山谷氏「一体、甲午の年生
まれの政治家とはどんな人が
いるだろうと、歴史上の人物
を探してみたいです。何と、

聖徳太子がいたので
す」

高市氏「すごい方
を見つけたものです
ね(笑)」

山谷氏「聖徳太子は574
年生まれですから、安倍首相
より1380年前の甲午の年
に生まれたということになり
ます」

高市氏「甲午の年生まれの
政治家には、リーダーとして
の共通点はあるのですか」

山谷氏「カリスマ性があっ
て、目標を定める力がある。

庁設置法が作られました。島
根県・竹島が韓国に不法占拠
されたことに對し、国際司法
裁判所に付託することを提案
しています」

高市氏「いずれも、安倍政
権が直面する重要課題と関連
性がありますね」

山谷氏「芸能分野では、美
空ひばりの『ひばりのマドロ
スさん』や、春日八郎の『お
富さん』がヒットしていまし
た。日本が主権回復して2年
目で、社会に明るさが出てき
た時代です。いま、日本が世

界に果たす使命や役割を意識
しつつ、牽引(けんいん)する
責任を負う時代になったわけ
ですから、使命感を感じま
す」

高市早苗「甲午」は日本が凜とした存在感増し 山谷えり子 本来の自分自身取り戻す年になる

さらに私利私欲がなく、大き
な事を成し遂げるパワーがあ
る—というところらしいです」

高市氏「確かに安倍首相
は、目標を定める力
と実行力は卓越して
いますよね」

山谷氏「次に安倍
首相が生まれた19
54年に何があつた
か、調べてみまし
た。政治的には、第
2次吉田内閣で防衛

高市氏(右)と山谷
氏は「今年を素晴らしい年にしよつ」と
誓い合った

山谷氏「私は日本が本来の
自分自身を取り戻す年になる
と思います。私の父は復員
後、新聞記者として事実を書
くこととしてGHQ(連合国最
高司令官総司令部)に阻まれ
ました。占領下の6年間で、
日本の歴史と地理の教育が失
われ、道を求める武道も禁止
された。ここに来て、国民が
徐々に気づき始めています」

山谷氏「例えは、(出光興
産を創業した)出光佐三をモ
デルとした『海賊とよばれた
男』がベストセラ
ーになっていま
す。出光の持論の
『会社は家族たか
ら、1人もクビに
しない』は日本式経営の本質
です。これら日本の美徳が大
きく花開く、そんな年になる
のではないでしょうか」

高市氏「先ほど聖徳太子の
話が出たので、法隆寺が所在
する選挙区の政治家として奈
良県をアピールさせてくださ
い。このぬいぐるみは『雪
丸』という聖徳太子の愛犬
で、いつも一緒に散歩してい
たと言われています。元日に
雪丸が鳴くと、その年は豊作
になったぞつです。間違いな
く今年の元旦、雪丸は鳴いた
と思いますよ(笑)」

高市氏「日本が凜とした存
在感が増していく予感があり
ます。安倍政権は、対外発信
機能を強化しますし、教育改
革も進みますから」

山谷氏「きつといいことが
いっぱいありますよ」

高市氏「私も、野党時代の
自民党が苗代で育てた苗を、
安倍政権が田に植え、美しい
青田ができたのが2013年
だと思っています。今年も、
稲穂の実りが楽しみです」

高市氏「私も、野党時代の
自民党が苗代で育てた苗を、
安倍政権が田に植え、美しい
青田ができたのが2013年
だと思っています。今年も、
稲穂の実りが楽しみです」

高市氏「私も、野党時代の
自民党が苗代で育てた苗を、
安倍政権が田に植え、美しい
青田ができたのが2013年
だと思っています。今年も、
稲穂の実りが楽しみです」

おわり

(取材・構成 安積明子)